

## リグニン定量法

### ADF の定量

#### 試薬：

- ・酸性デタージェント溶液

セチルトリメチルアンモニウムブロミド（ヘキサデシルトリメチルアンモニウム  
ブロミド）10g を 500 mL の 1N 硫酸に溶かす。

- ・アセトン
- ・消泡剤としてデカヒドロナフタレン（なくてよい）

#### 方法：

サンプル 300 mg を秤量し、50 mL 三角フラスコに入れ、酸性デタージェント溶液を 30 mL 加える。アルミホイルでフタをし、沸騰水中に三角フラスコをいれ、60 分間分解する。分解後、ガラス繊維濾紙（GA-200）を敷いたグーチルツボに移して吸引ろ過し、残渣を熱水とアセトンで洗浄する。風乾後、熱乾燥する。なお、乾燥後恒量し、灰分を差し引いたものの重さが ADF であるが、リグニン定量後の灰分をこれに用いることはできない。

## リグニン定量

#### 試薬

- ・72%硫酸

#### 方法：

上記で乾燥させたルツボに 72%硫酸を数的たらしめて全体を湿らせた後、ADF 量の約 2 倍の硫酸を加え、一時間毎に硫酸を適宜追加しながら 3-4 時間放置する。その後吸引ろ過し、熱水で炉液が酸性を示さなくなるまで洗浄する。風乾後、熱乾燥し、恒量する。ルツボを 550°C で灰化し、灰分を求める。